

## A-02 槍ヶ岳 北鎌尾根(3180m)

【山行日】2021年8月27日～30日

【CL】3314【参加者】3317 3447 3508

【コース】8/28 上高地バスターミナル 6:00…11:50 槍沢大曲り…13:00 水俣乗越…16:00 北鎌沢出合(テント泊) 8/29 北鎌沢出合 5:30…8:50 北鎌のコル…13:15 独標 2899m…18:15 北鎌平(テント泊) 8/30 北鎌平 5:30…8:00 槍ヶ岳頂上…8:45 槍ヶ岳山荘…11:05 槍沢大曲り…14:00 徳沢園…16:20 上高地バスターミナル

今年の夏は梅雨明けはしたがいつまでも豪雨が続き、なかなか思うように山に行くことが出来ずイライラが募っていた。しかし、北鎌を予定していた週末は低気圧がせり上がり晴れ予報。これは行けると思いき山行を決行。昨日まで雨が降り続いていたのが嘘のようだった。

山行1日目 晴れ：いつものように河童橋で記念写真を撮り、上高地を出発。明神、徳沢、横尾、槍沢と計画通り順調に進む。しかし槍沢大曲りから急登になり、全員はあーはあー、ぜーぜーいいながらなんとか水俣乗越までなんとか登った。水俣乗越の矢印看板の前で”このぐらいの急登でこんなに疲れているのに北鎌尾根に入って、帰って



くることができるのか？やめるなら今しかない。”と“逃げちゃダメだ、逃げちゃダメだ。”という葛藤の末、結局、矢印表示のない北側の急なザレ道をブラックホールに吸い込まれるように下っていた。30分位下ると傾斜が緩くなり、大きな岩がゴロゴロしている沢を下って今日の幕営地の北鎌沢出合に到着。

山行2日目 晴れのち雨：北鎌沢出合を少し登って右俣と左俣の分岐で今晚と明日の分の水を補給した。水の補給で重いザックはさらに重くなり、“これを背負って危ない岩場を歩くのか？”と急に気も重くなった。その後、険しい涸沢を登り、北鎌のコルに到着。コルからはしばらく緩やかな登りで天狗の腰掛に到着。天狗の腰掛からは独標の全容が見え、“さあ、これからは北鎌の核心だ。”と気合いを入れる。独標基部まで来ると“ここで落ちたらただのケガじゃ済まないからな”と主張しているトラバース道が待っていた。ここを恐る恐る通過しなんとか独標に到着。その後も“滑ったらどこまでも落としてやるけんね”と言いたげな怖いザレ場を泣き泣き通過し、今日の幕営予定地の北鎌平に到着。

山行3日目 曇り：朝起きるとガスがかかっており、眺望が効かない状態での出発となった。しかし、山頂まであと少しと考えると少し気持ちが楽だった。昨日の雨で岩が少し濡れていたので一步一步慎重に山頂大槍を目指す。山頂近くになると人の声が聞こえ、“すぐそこが山頂なんだ”と確信する。そして最後の垂直の壁を登って祠の後ろに出た。祠前でお決まりの記念写真を撮り山頂を後にした。下山中終始“もうこんな長い怖い山行は卒業やで～。”とメンバー全員一致意見だったが、帰りの車中では“今度は何に挑戦しようか？”と話が盛り上がる私達だった。今度は高瀬ダムからか？(3314)

